



議員の

聞く

×

つなぐ

町の

声

「小川和紙を愛する会」編

議会だよりを
読んだことが
ありますか？

(いいえ 0人) —

はい
3人



議員が町の声聞き、つないでいくという企画。第4回は、前号特集でご紹介した子供議員バッジを制作していただいた「小川和紙を愛する会」の皆さん取材しました。

「今後の活動・取り組み、 住民の皆さんに向けて」

7月1・2日に開催される「第2回和紙サミット」に向けて、まずはGWの5月3日に伝統工芸会館で行われる「工芸の里まつり」の中で、和紙の風鈴づくり体験を予定しています。ご来場の皆さんにご協力いただき、つくった風鈴はサミットの会場等で展示します。ぜひ、お越しください。

この際、言わせて！

(原文のまま掲載しています)

- ・もう少しダメなことに対して強い態度を示してほしい。守りに入ってることが多く感じられる。
- ・和紙に特化した担当グループができたのに、職員が1人ってどういうこと？！
- ・頑張ろうとしている者に愛の手を！



ご協力いただいた皆さん、ありがとうございました

傍聴から はじめよう!!

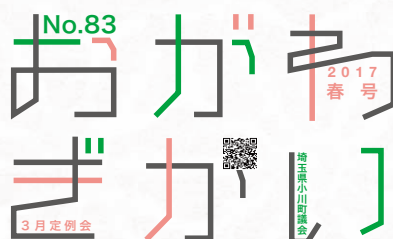
どなたでも傍聴でき
ます (事前連絡は不要です)
役場3階にお越しください

次回定例会は

6月6日(火)~
開会は**10時**です



傍聴席の
定員は
40名



No.83

小川町議会だより
平成29年3月定例会春号
(平成29年5月1日発行)

発行責任者：小川町議会議長 根岸成美

編集：議会広報発行特別委員会

委員長 高瀬 勉 副委員長 田中照子

委員 戸口 勝・笠原 武・島崎隆夫・笠原規弘

編集後記

第77号から新メンバーでスタートした議会報。79号からは、議会だより「6つの約束」のもと町民の皆さんに手に取って読んでもらえる議会だよりを目指しました。そして、この79号で平成28年度町村議会広報コンクール「編集・デザイン部門」で奨励賞を受賞することができました。これからは委員一同、町民の皆様にとって親しみやすい議会だよりを目指します。最後に、議会報の編集を通して、何よりも自分自身が成長できたことが私にとって大きな収穫です。(田中照子)

